

島根県商工会地域 第 180 回中小企業景況調査報告書（簡易版）

（令和 7 年 4 月～6 月期実績 令和 7 年 7 月～9 月期予測）

令和 7 年 7 月

島根県商工会連合会

■調査対象：企業数 1 5 0 （出雲隠岐地区 9 0 石見地区 6 0）

《小売業：4 5 サービス業：5 5 製造業：2 9 建設業：2 1》

■業種別業況天気図

天気図のよみ方

業 種	令和 6 年 4 - 6 月	令和 6 年 7 - 9 月	令和 6 年 10-12 月	令和 7 年 1 - 3 月	令和 7 年 4 - 6 月	見通し 7 - 9 月
小売業						
サービス業						
製造業						
建設業						

	表示	DI
特に 好転		50.1～ 100
好転		25.1～ 50.0
やや 好転		0.1～ 25.0
やや 悪化		0.0～ △25.0
悪化		△25.1～ △50.0
特に 悪化		△50.1～ △100.0

■経営上の問題点

業 種	1 位	2 位	3 位
小売業	仕入単価の上昇	需要の停滞	購買力の他地域への流出
サービス業	材料等仕入単価の上昇	店舗施設の狭隘・老朽化	人件費以外の経費の増加
製造業	原材料価格の上昇	生産設備の不足・老朽化	従業員の確保難
建設業	材料価格の上昇	従業員の確保難	熟練技術者の確保難

【業種全体の概要】全体の業況は小幅な好転となった。来期は今期並みと予測する。

業 種	業 況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
	前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
全業種	好転①	15.3	増加①	25.3	好転①	16.3	好転①	10.1
	不変	52.7	不変	35.3	不変	49.7	不変	65.5
	悪化②	32.0	減少②	39.3	悪化②	34.0	悪化②	24.3
	DI①-②	▲16.7	DI①-②	▲14.0	DI①-②	▲17.7	DI①-②	▲14.2

●数値は企業の回答割合（％）

●DI とは景気を判断する指数であり、各調査項目についての「①好転（増加）」と答えた企業割合と「②悪化（減少）」と答えた企業割合の差（ポイント）を示すものである。

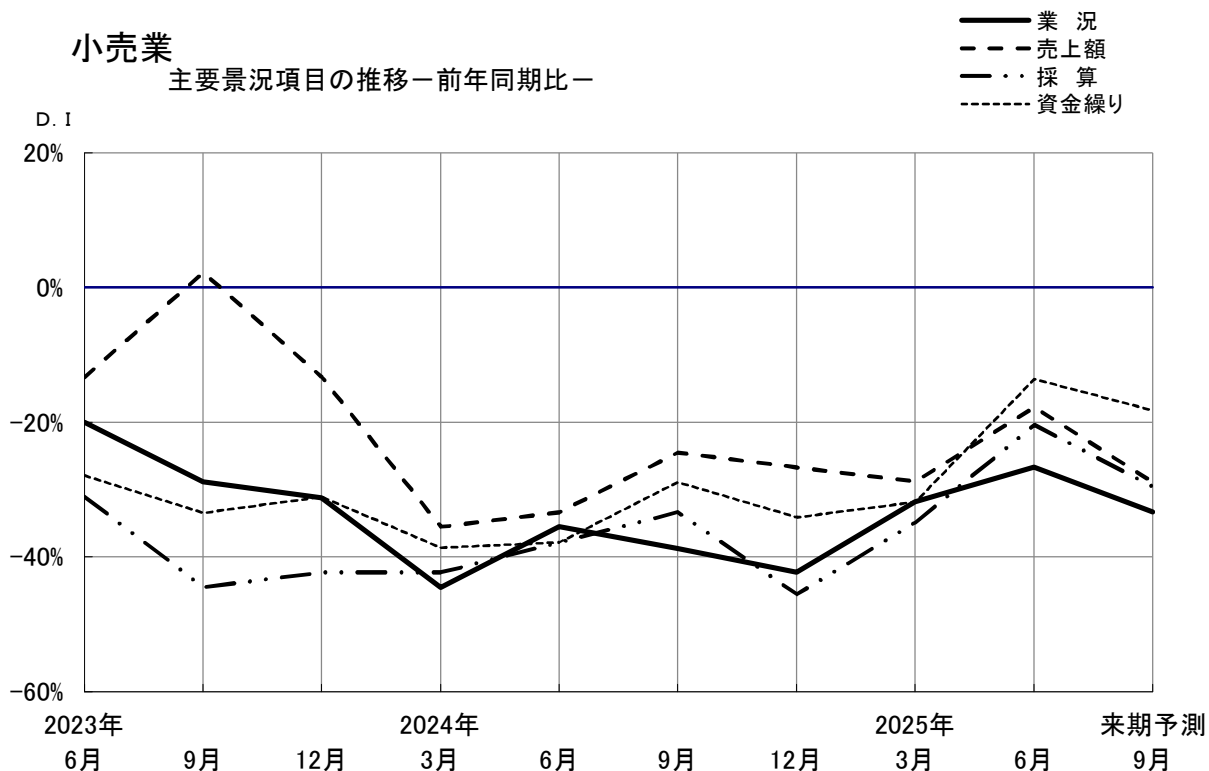
●各数値の表記は、小数点以下第 2 位を四捨五入処理したものである。

- ★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が 15.3%。「悪化」したと回答した企業が 32.0%。
DI（景気判断指数）が▲16.7 で前期調査（1-3 月）より 7.4 ポイント上昇。業況は小幅な好転となった。来期（7-9 月）は▲16.0 ポイントで 0.7 ポイント上昇。今期並みと予測する。
- ★売上額が前年同期比で「増加」したと回答した企業が 25.3%。「減少」したとの回答が 39.3%。
DI（景気判断指数）が▲14.0 で前期調査より 8.0 ポイント上昇。売上額は好転となった。来期は▲11.3 ポイントで 2.7 ポイント上昇。小幅な好転と予測する。
- ★採算が前年同期比で「好転」したと回答した企業が 16.3%。「悪化」したと回答した企業が 34.0%。
DI（景気判断指数）が▲17.7 で前期調査より 12.7 ポイント上昇。採算は好転となった。来期は▲17.7 ポイントで横這い。今期並みと予測する。
- ★資金繰りが前年同期比で「好転」したと回答した企業が 10.1%。「悪化」したと回答した企業が 24.3%。
DI（景気判断指数）が▲14.2 で前期調査より 14.7 ポイント上昇。資金繰りは好転となった。来期は▲12.0 ポイントで 2.2 ポイント上昇。小幅な好転と予測する。

【小売業】 業況は小幅な好転となった。来期は小幅な悪化と予測する。

業 況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	13.3	増加①	24.4	好転①	20.5	好転①	11.4
不変	46.7	不変	33.4	不変	38.6	不変	63.6
悪化②	40.0	減少②	42.2	悪化②	40.9	悪化②	25.0
DI①-②	▲26.7	DI①-②	▲17.8	DI①-②	▲20.4	DI①-②	▲13.6

- ★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が 13.3%。「悪化」したと回答した企業が 40.0%。
DI（景気判断指数）は▲26.7 で前期（1-3 月）調査より 5.1 ポイント上昇。業況は小幅な好転となった。来期は▲33.3 で 6.6 ポイント低下。小幅な悪化と予測する。※項目推移グラフ※業況天気図
- ★その他では、売上額の DI は▲17.8 で前期調査より 11.0 ポイント上昇。採算は▲20.4 で前期調査より 14.5 ポイント上昇。資金繰りは▲13.6 で前期調査より 18.2 ポイント上昇。※項目推移グラフ



【サービス業】 業況は好転した。来期は小幅な好転と予測する。

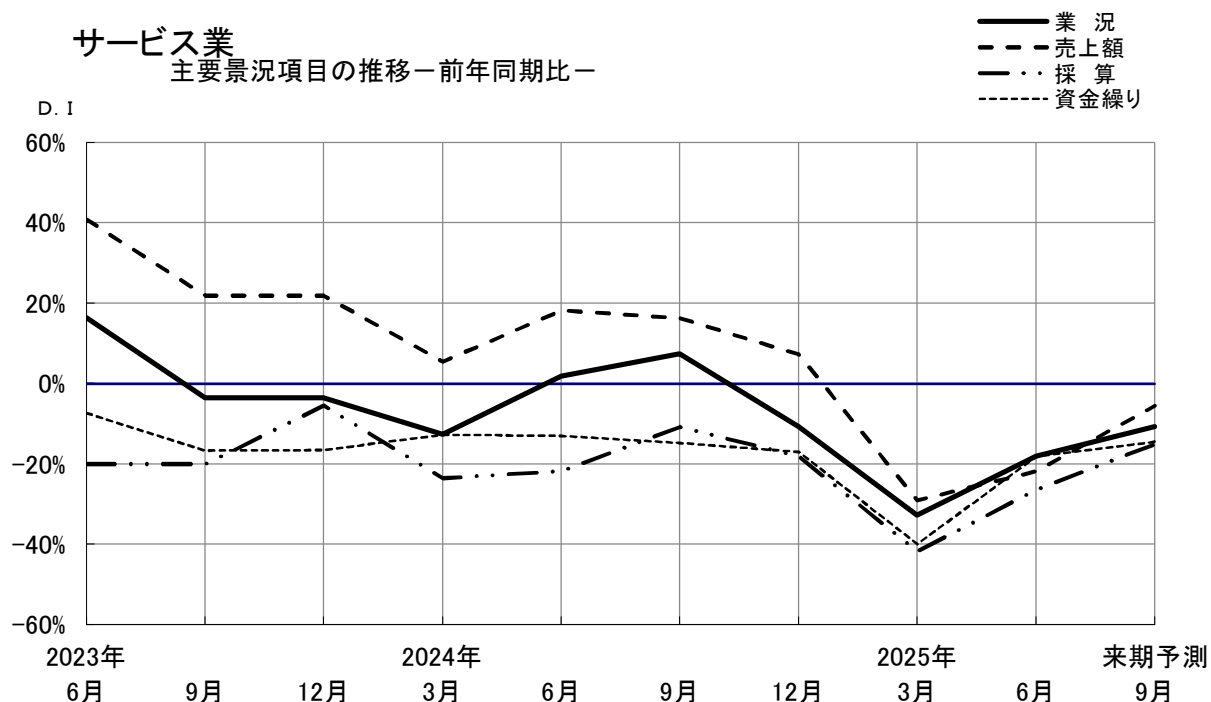
業 況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	12.7	増加①	21.8	好転①	13.2	好転①	7.3
不変	56.4	不変	34.6	不変	47.2	不変	67.2
悪化②	30.9	減少②	43.6	悪化②	39.6	悪化②	25.5
DI①-②	▲18.2	DI①-②	▲21.8	DI①-②	▲26.4	DI①-②	▲18.2

★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が 12.7%。「悪化」したと回答した企業が 30.9%。

DI（景気判断指数）は▲18.2 で前期（1-3 月）調査より 14.5 ポイント上昇。業況は好転した。

来期は▲10.9 で 7.3 ポイント上昇。小幅な好転と予測する。※項目推移グラフ ※業況天気図

★その他では、売上額の DI は▲21.8 で前期調査より 7.3 ポイント上昇。採算は▲26.4 で前期調査より 15.4 ポイント上昇。資金繰りは▲18.2 で前期調査より 21.8 ポイント上昇。※項目推移グラフ



【製造業】 業況は小幅な悪化となった。来期は小幅な好転と予測する。

業 況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	20.7	増加①	44.8	好転①	20.7	好転①	14.3
不変	48.3	不変	17.3	不変	51.7	不変	53.6
悪化②	31.0	減少②	37.9	悪化②	27.6	悪化②	32.1
DI①-②	▲10.3	DI①-②	6.9	DI①-②	▲6.9	DI①-②	▲17.8

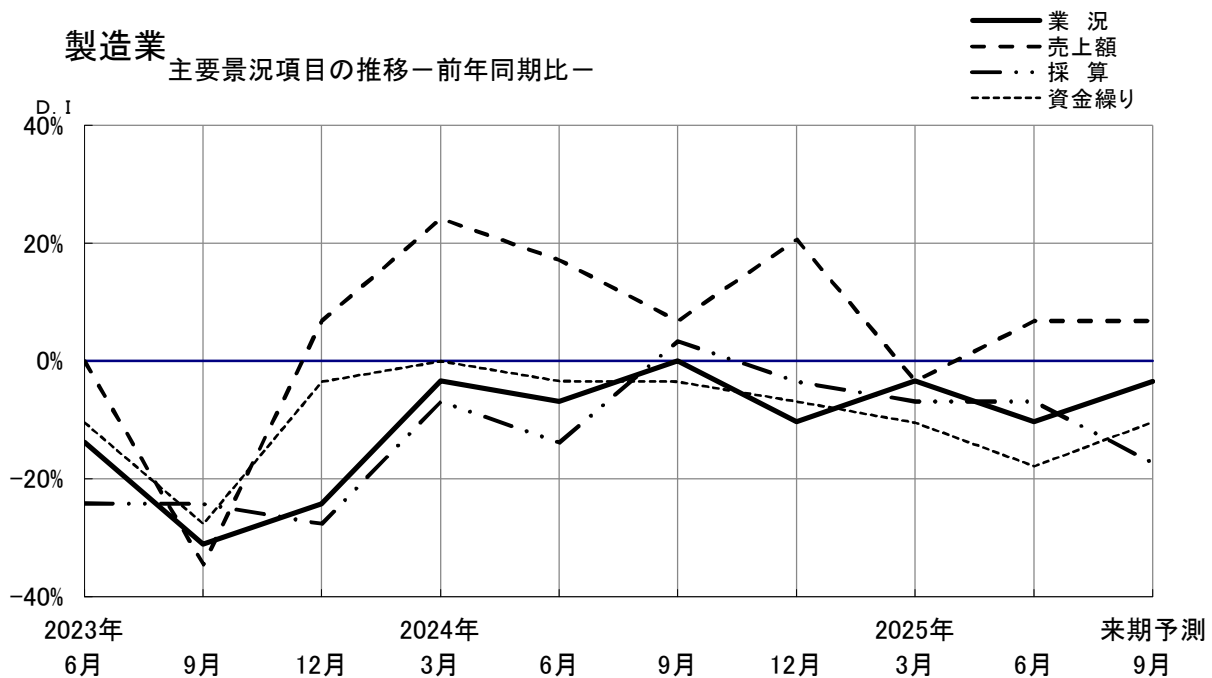
★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が 20.7%。「悪化」したと回答した企業が 31.0%。

DI（景気判断指数）は▲10.3 で前期（1-3 月）調査より 6.9 ポイント低下。業況は小幅な悪化となった。来期は▲3.5 で 6.8 ポイント上昇。小幅な好転と予測する。※項目推移グラフ ※業況天気図

★その他では、売上額の DI は 6.9 で前期調査より 10.3 ポイント上昇。採算は▲6.9 で前期調査と同ポイントで横這い。資金繰りは▲17.8 で前期調査より 7.4 ポイント低下。※項目推移グラフ

製造業

主要景況項目の推移－前年同期比－



【建設業】 業況は好転となった。来期は悪化と予測する。

業況		完成工事額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	19.0	増加①	9.5	好転①	9.5	好転①	9.5
不変	62.0	不変	66.7	不変	76.2	不変	81.0
悪化②	19.0	減少②	23.8	悪化②	14.3	悪化②	9.5
DI①-②	0.0	DI①-②	▲14.3	DI①-②	▲4.8	DI①-②	0.0

★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が19.0%。「悪化」したと回答した企業が19.0%。

DI（景気判断指数）は0.0で前期（1-3月）調査より14.3ポイント上昇。業況は好転となった。

来期は▲9.5で9.5ポイント低下。悪化と予測する。※項目推移グラフ ※業況天気図

★その他では、完成工事額のDIは▲14.3で前期調査と同ポイントで横這い。採算は▲4.8で前期調査より19.0ポイント上昇。資金繰りは0.0で前期調査より19.0ポイント上昇。※項目推移グラフ

建設業

主要景況項目の推移－前年同期比－

